

多摩支部会報

平成29年春季号

平成29年 5月 7日

明治大学校友会
東京都多摩支部

支部長 西山 強

広報委 飯田光宏



新年度を迎えて



平成29年度もはや1ヶ月半が経過しました。大学では全体で8358名の明大生が誕生いたしました。校友会にも7500名を超える校友が新たに入会いたしました。分母が大きくなりました（うち 33.4%

が女性です）。如何にして新入校友を地域支部に取込めるかが課題です。

さて各地域支部に置かれましては、平成29年度総会が進められ、事業計画が動き出したものと思います、

多摩支部も6月18日の第14回定時総会に向けての諸準備が進み、各位におかれましては、出欠のご返信を投函していただいたものと思います。学校・大学・校友会本部からのご出席もお願いしてあります。明治大学の現状と課題・将来像等気になることが多くお聴きできることと思

います。より多くの校友各位のご出席をお待ち申し上げます。

今、多摩支部は飛翔の一步として、「各地域支部の質の向上」と「女性を含めた若者の参画」及び「情報のスピード化」を目標に企画事業の共同開催、IT化対応などに尽力しております。校友の「絆」を強くし、「明治はひとつ」の旗のもと、大いに良き汗をかきましょう。

次の記事にあるように、大学はより一層、スポーツ振興に力を入れてくれそうです。

おおいに期待です。

野球・駅伝、ラグビー、サッカー、柔道等々メジャーな大学スポーツは、一番でなければ、優勝しなければ「ひとつ」への結束力はなかなか発揮できないと思います。勝負ですから勝ち負けはつきものですが、一つになって応援し、勝つてこそ、より母校愛を母校賛助の気持ちを醸成するものだと思います。

多摩支部長 西山 強 (36年 工/国分寺)

紫紺ネット 会員募集中
紫紺ネット . . . 検索

年末年始の悔しさはゴメンだ！

スポーツ領域の体制強化

—— ベイスターズ前球団社長・池田純氏を招へい

明治大学は、大学スポーツのさらなる振興を図るべく、プロ野球・横浜DeNAベイスターズ前球団社長の池田純氏を学長特任補佐として招へいた。

池田氏は、横浜DeNAベイスターズの初代社長としてさまざまな改革を主導し、球団の黒字化に成功。その手腕を生かし、明治大学のスポーツ領域を戦略的かつ一体的に統括

し、大学スポーツ振興のための施策の検討、諸課題の研究・分析などを行う。

4月3日、駿河台キャンパス・紫紺館で行われた記者会見で池田氏は、「大学スポーツには可能性がある。スポーツを通して学生、卒業生、地域、行政、企業などとのつながりを広げていきたい」と意気込みを語った。



卒業式 土屋恵一郎学長 告辞抜粋

・・・その彼に、最近ではグローバル人材と騒がしいけれど、グローバル人材とは何だかと思うかと聞いたことがあった。彼は即座にこう答えた。「土屋先生。それはインテグリティーで すよ」と。インテグリティーとは高潔さとか誠実さという意味だ。

英語が話せようと、プレゼンテーションがうまくても、誠実でなければ、誰もついてきてくれない。アメリカ現地の従業員の信頼を得るには、日本本社意向ばかりを考えてはだめなのだ。自ら従業員に向き合いウソをつかず、自ら決断しなければならない。そこで誠実さが、インテグリティーが問われる。繰り返しになるが、社会ではそれほど多くのことは必要ない。現実には、社会はとても単純なルールで動いている。ウソをつかず、決断に誠実であることだ。自らの言葉を持ち、その言葉に誠実であればいい。そして、もう一つ、ある力があれば、この世界で何かを生み出すことができる。それは想

像力だ。詩人であり演出家でもある、現代日本を代表する一人、寺山修司はこう言ったことがあった。「どんな鳥も想像力より高く飛べる鳥はいない。人間に与えられた能力のなかで、一番素晴らしいものは想像力である」。私もそう思う。目の前の事柄に対して、ちょっと違うラインを引いて見る。誰かの言葉を知って、その言葉から発想してみる。本を読む意味もそこにある。自分の言葉や、これまで考えてきたことから、ちょっと逸脱してみれば、違う世界が見えてくる。

今日君たちは明治大学を卒業する。鳥よりも高く飛ぶがいい。そして羽根を休めなくなったら、明治での日々を思い起こして、自由な青春を呼び戻して、何でもできる力を取り戻せばいい。卒業生のみんな。グッドラック。きっと良い人生がある。どんな困難があっても、きっと誰かが助けてくれる。絶望など人生には必要がない。全てを捨てるようなことがあっても、この世界には生きる楽しみがある。再び全てを得ることができる。70歳になった私が言うのだから、間違いはない。もう一度言おう。グッドラック。良き人生を。卒業おめでとう。

編集後書 青空に鯉のぼりが舞い、藤やボタンが咲き誇る時季となりました。平成29年度がスタートしました。実行委員会は「第14回多摩支部定時総会」に向けて頑張っておられます。土屋学長の「告辞」に感銘したので転載させていただきました。 広報委員長 飯田光宏